

書籍紹介

佐賀大学・佐賀学創成プロジェクト 編 『佐賀学 佐賀の歴史・文化・環境』

佐賀大学において佐賀地域の歴史・文化・環境についての研究体系としての「佐賀学」の構築を目指したプロジェクトが進められたが、本書はその成果を集めた論集である。各論文においては、その地理的条件から古くから大陸とのつながりを持つゆえに貿易や文化の受容・普及に関して特有の背景を持ち、日本の近代化においても重要な役割を果たした佐賀地域について、各種資料からの緻密な分析が行われている。「原始・古代」「歴史」「近・現代」の三部のうち、特に「歴史」の部が医学研究との関連性が高い。「近世佐賀藩医学の先進性」は医学教育や西洋医学の導入から江戸期の佐賀藩医学を分析している。「江戸中期の名医・徳永雨卿」では、徳永雨卿の還暦・古稀の祝いに贈られた詩文から現在は忘れられてしまった佐賀藩の医者生き様や交友を明らかにしている。また「他国者が見聞した幕末佐賀藩の教育」は佐賀藩の教育全般についての評判と評価を扱うが、医学教育について論じる上でも参考になる。

内容

【原始・古代】

地下の可視化から読み取る佐賀学	半田 駿	5
佐賀平野における弥生文化の生成・発展と東アジア 弥生時代における佐賀の特質	七田 忠昭	24
佐賀平野の古墳時代社会と首長制	重藤 輝行	54

【歴史】

竜造寺氏から鍋島氏への領主交代		
佐賀藩成立の政治過程	野口 朋隆	81
近世佐賀藩医学の先進性	青木 歳幸	99
江戸中期の名医・徳永雨卿	中尾友香梨	118
佐賀藩和学覚書		
地域和学史年表を構想して	白石 良夫	149
他国者が見聞した幕末佐賀藩の教育	生馬 寛信	161
佐賀藩手明鑑・武藤信邦の生涯	伊藤 昭弘	191

【近・現代】

「帝国」と地域経済		
二〇世紀初頭の唐津—朝鮮航路をめぐる	石川 亮太	205
戦間期における佐賀経済と中央の大資本との関係		
佐賀紡績と鈴木商店及び鐘紡の武藤山治	山本 長次	228
副島八十六と近代日本・佐賀・アジア		
大隈の日印協会の活動を中心に	山崎 功	249
水が織りなす佐賀平野の自然と文化	岡島 俊哉	275
	(澤井 直)	

[合同会社花乱社, 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-6-13-405, TEL. 092 (781) 755, 2011年4月, A5判, 312頁, 3,000円+税]